

4年生 キャリア教育単元計画

2022 (R4)

教科	総合的な学習の時間
単元名	環境を守ろう 学ぼう 育てよう
関連する教科	国語科・社会科
単元計画の概要	環境について関心を持ち、調べたりまとめたりする活動を通して、自分の生活との関りを見つめ直し、環境を守る立場に立って考えることの大切さを学び、生活に生かそうとする態度を養う学習である。
関連企業等 (連絡先)	■■■■■さん (戸手地区) ■■■■■さん (戸手地区)
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活と環境との関わりに関する学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けているとともに、地域の特徴やよさ、地域の方の思いや願いが分かり、対象の持つ意味や価値、不思議さや魅力に気付いたり、それらを感じ取ったりしながら、認識を深めることができる。(知識・技能) 自分の生活と環境との関りから思いや願い、問いを持ち、その実現に向けて、他教科等で身に付けた資質・能力も活用しながら、自分の課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめたり、表現したりできる。(思考力・判断力・表現力等) 自分の生活と環境との関わりについての探究的な学習に、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画することができる。(主体的に学習に取り組む態度)

キャリア教育と総合的な学習の時間本単元で育成する資質・能力

	と・で チャレンジ&チェンジする力	つ 自己表現力	こ 自己理解力
知識及び技能			総 地域の特徴やよさ、地域の方の思いや願いが分かり、対象の持つ意味や価値、不思議さや魅力に気付いたり、それらを感じ取ったりしながら、認識を深めることができる。 中 自分のとくいな事や、むちゅうになれる事を見つける。
思考力・判断力・表現力等		総 他教科等で身に付けた資質・能力も活用しながら、自分の課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめたり、表現したりできる。 中 自分の思いや考えをまとめて表現できる。	
学びに向かう力 人間性	総 互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画することができる。 中 こんなんな事にもちようせんし、最後までやりきることができる。		

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。	他教科等で身に付けた資質・能力も活用しながら、自分の課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめたり、表現したりしている。	地域の特徴やよさ、地域の方の思いや願いが分かり、対象の持つ意味や価値、不思議さや魅力に気付いたり、それらを感じ取ったりしながら、認識を深めている。

本質的質問

地域の環境を守るために自分にできることは何だろう。

活 動 計 画

学習 段階	○学習活動 ・ 支援（留意点）	評価	
		評価規準	評価手法
1 (25)	<p>環境問題について、知っていることを交流し、自分たちの地域ではどのような問題があるのか、またどのような取り組みを誰が行っているのかを考える。</p> <p>(1)ブレインストーミングで環境問題について知っていることを出し合う。</p> <p>(2)地域の方（吉岡さん・馬屋原さん）の話から、地域の環境問題について考える。</p> <p>(3)リサイクルセンターの人の話から、ごみの処理の仕方について考える。</p> <p>(4)地域の環境問題やごみの問題について多くの人に知ってもらうために新聞を作成する。</p>	<p>主①地域の特色やよさ、地域の方の思いや願いが分かり、対象の持つ意味や価値、不思議さや魅力に気付いたり、それらを感じ取ったりしながら、認識を深めている。</p>	<p>・ブレインストーミング</p> <p>・環境新聞</p>
2 (15)	<p>メダカ祭りに向けて、環境のために自分たちにできることを考え、実践する。</p> <p>(1)メダカ祭りについて知る。</p> <p>(2)自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルでのリサイクル商品の作成 ・環境チケットの配布 <p>(3)メダカや地域の環境問題について、たくさんの人に考えてもらうために、クイズや紙芝居など様々な方法で啓発する。</p>	<p>思①他教科等で身に付けた資質・能力も活用しながら、自分の課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめたり、表現したりしている。</p>	<p>・クイズ、紙芝居等</p>
3 (7)	<p>地域から世界の環境問題に視野を広げ、地球温暖化の原因や影響について調べ、自分たちにできることは何かを考え、実践する。</p> <p>(1)地球温暖化について知っていることを交流する。</p> <p>(2)自分たちにできないかを考え、実践する。(地域のゴミ拾い等)</p>	<p>知①互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。</p>	<p>・情報収集</p>
まとめ (時数)	<p>地域の環境をみんなで守ろうと啓発するために、これまで学んできた内容を、4年生だけでなく多くの人に知ってもらう発表会を行う。</p> <p>(1)地球温暖化をこれ以上進めないために、多くの人に現実を知ってもらう計画を立てる。</p> <p>(2)劇や新聞など様々な方法で啓発を行う準備をする。</p> <p>(3)発表会を行う。</p>	<p>思①他教科等で身に付けた資質・能力も活用しながら、自分の課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめたり、表現したりしている。</p>	<p>・劇やニュース等</p>

【児童の姿】

T：地域や世界の環境問題について学んでどんなことを考えましたか？

C：自分たちにできることをしたい。

C：放課後や登下校に落ちているゴミを拾う。

C：電気や水の無駄遣いをなくす。

C：トイレの電気がつけっぱなしになっているから家族にも呼びかける。

C：地域のゴミは、自分たちだけではすべて拾えないから、学校の人にも呼びかけるといいと思う。

T：どうやって呼びかける？

C：地球温暖化についての本をつくって大階段に置くといいと思う。

C：ポスターを図書室に掲示するといいと思う。

C：動画を撮影して、みんなに見てもらおうといいと思う。

自分たちで地域のゴミを拾いました。

環境ニュースを撮影して、全校に発信しました。



【授業者リフレクション】

成果

- ・企業の人の考えや、地域の人思いなど子どもたちが様々な人の目を通して、地域の環境について考えることができた。
- ・地域の人と協力して行事を成功させるという目標設定ができたおかげで、やらされるのではなく、自分たちでどうすればもっと良くなるか等のアイデアを出しながら学習を進めることができた。
- ・地域や世界の環境問題を、具体的に聞いたり見たりしたことで、環境問題をより身近に感じることができた。
- ・今までは気付かなかった（または気付いていたけど意識していなかった）ごみや環境問題に目が止まり、自分たちにできることを主体的に考えて実践することができた。
- ・自分たちだけでは環境問題を解決することができないことから、全校児童に呼び掛けようと、効果的に環境問題について全校に伝える方法を今までの学習とつなげて自分たちで考えることができた。

☆課題 →改善点（以下、例）

- ・企業連携が少なかった。⇒4年生の学習とつながる企業について前年度から情報収集しておく。
- ・子どもが「やりたいこと」をたくさん出していたが、学校や地域の人と連携して進めていくため限られたものしか実践できなかった。⇒すべてを実践することは難しいが、授業者から「できない。」で終わらせるのではなく、その時の状況を子どもと共有し、できることできないことを子どもと一緒に判断していくことを大切にしていく。